

「海ごみ」について考えよう！

海ごみとは、**漂流ごみ**（海を漂っているごみ）や、**漂着ごみ**（海岸に流れ着いたごみ）、**海底ごみ**（海底に沈んだごみ）のことです。海ごみのなかでも特にプラスチックごみは、世界で毎年数百万トンを超える量が海に流れ出ており、このままでは2050年までに魚の重量を上回ると予測されています※1。

※1 THE NEW PLASTICS ECONOMY RETHINKING THE FUTURE OF PLASTICS（エレン・マッカーサー財団、2016 年）



海岸に打ち上げられたごみ



海底に沈んだプラスチックごみ

海ごみにはどんな問題があるの？

生きものへの影響

海の生きものが海ごみをエサと間違えて食べてしまい、死んでしまうことがあります。



漁業への影響

漁業者の網に海ごみが引っかかり漁業の妨げになります。

特にプラスチックごみは・・・

分解されにくい

プラスチックは自然に分解されにくく、素材によっては**自然分解**されるのに**数百年**もかかるといわれています。一度海ごみになると、とても長い時間海に残り続けることになります。

マイクロプラスチック

プラスチックごみは、長い時間、海を漂う間に、太陽光や波の力などでだんだん碎けて、**マイクロプラスチック**（5mm以下の破片）になります。マイクロプラスチックになると**回収が困難**で、有害物質を吸着しやすいといわれており、生きものへの影響などが心配されています。

海ごみを減らし、海を守っていくために

私たちの生活の中で出たごみの一部が側溝や川などを通り、海に流れ出て海ごみとなっています。福岡市では、市民や漁業者、行政等による海ごみの回収を行っています。しかし、すべてのごみを回収することは難しいため、海ごみを増やさないようにすることが大切です。

- ・「使い捨て」を見直し、**ごみ自体を出さない生活**を心がける
- ・屋外でごみを放置せず、**適切に処理**する
- ・**清掃活動に参加**する

など、一人ひとりが自分にできることに取り組みましょう。

マイバックや
マイボトルの活用



積極的に
リサイクル

